

第 31 回プロジェクト・ゼミナール

環状ポルフィリン二量体の自己集合 による有機ナノチューブの形成と そのフ ラーレン包接

講師: 谷 文都 先生

(九州大学先導物質化学研究所 准教授)

2009 年 7 月 3 日(金)13:00～14:00

C226 号室 (理学部 2 階 大講義室)

谷先生は、有機化学、錯体化学、そして超分子化学の分野で活発に研究を展開されている気鋭の研究者です。これまでに、チトクローム P-450 の活性中心を規範とするモデル金属錯体（ポルフィリン錯体）の構築を研究基盤として、触媒的不斉酸化反応の開発や生体内酸化反応の酸素分子活性化機構の解明などで優れた業績を挙げています。また、最近では、ポルフィリンに自己集合機能を導入してナノチューブを構築し、その内部空間にフラレン（C₆₀）を取り込んで 1 次元に配列させることに成功しています。大きな π 電子系をもつポルフィリンとフラレンのこのような複合体は、特異な電子的および光化学的性質を発現するものと期待されており、国内外で大きな注目を集めています。

この度の来学の機会に、上記演題で講演をお願いしました。皆様のご来場をお待ちしております。

連絡先 〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1

熊本大学大学院自然科学研究科

理学専攻 化学講座

入江 亮

TEL&FAX 096-342-3379